

万田坑ステーションデジタルコンテンツ整備業務委託 基本仕様書

1 業務名

万田坑ステーションデジタルコンテンツ整備業務

2 業務の目的

本業務では、万田坑ステーション来館者へコロナ禍での工夫をしながら万田坑の理解度向上を図るため、本市がこれまで蓄積してきた三池炭鉱万田坑に関する写真データ、元労働者に対し行ったインタビュー映像等をデジタルアーカイブで管理・公開できるように機器一式を整備することと併せて、現在では実際に見ることができない地下坑道の世界をVR（仮想現実）で疑似体験できるようVR視聴機器一式を整備する。

3 履行期間等

履行期間：契約締結日から令和4年3月31日（木）まで

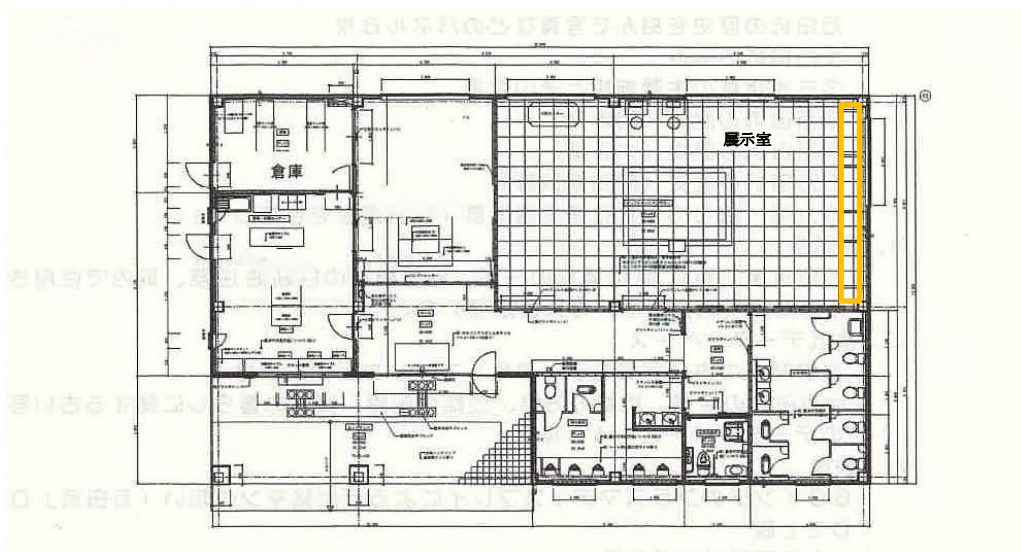
履行場所：万田坑ステーション（荒尾市原万田200番地2）

4 業務仕様

(1) デジタルアーカイブ整備

ア 概要

- (ア) 万田坑ステーション（下図）の展示室内で現在高木尚雄写真を展示中の壁面（黄色枠部分）に、およそ高さ2.1m×横6.5mの造作壁を製作・設置すること。



(イ) タッチパネル一式で写真資料のデジタルアーカイブコンテンツの製作及び機器を設置すること。

イ デジタルアーカイブについて

荒尾市が所有している万田坑操業時の写真、元労働者に対し行ったインタビュー映像等70点ほどの電子データを管理・公開できるデジタルアーカイブシステムを製作すること。施設の利用者が端末を操作することによって検索及び閲覧ができるものとする。なお、画像、動画等のデータの更新作業については、施設職員で行えるように製作すること。

ウ 機器について

デジタルアーカイブコンテンツは、管理及び公開を1台のPCのみで行うスタンドアロンとする。公開画面の操作については、ユーザビリティ及びアクセシビリティに配慮し、高齢者、児童、障害者等への配慮も行き、誰もが見やすく使いやすいものとする。なお、機器をVRコンテンツと共用することは差し支えない。操作に当たっては、新型コロナウイルス感染症への対策を行うこととする。

(2) VRコンテンツの操作

ア 概要

(ア) デジタルアーカイブの造作壁を共有することとする。

(イ) 坑口からケージで現在見るできない地下約270メートルまで下り、採炭場所まで坑道内を移動する様子を、VRにて臨場感をもって解説できることとする。

対応言語は日本語、英語、中国語及び韓国語の4言語とし、言語の選択が可能なものとする。

コンテンツは、写真、CG、アニメーション、BGM等を使用した分かりやすいコンテンツとし、利用者の満足度及び理解度の促進を図れるように工夫する。

また、VR動画は、本展示と別にインターネット上で公開する予定であるため、動画データを納入すること。動画ファイル形式は、MP4とする。

イ 機器について

(ア) VRコンテンツは、没入感のあるヘッドマウントディスプレイ（VRゴーグル）、モニター等を用いることによって視聴できるものとする。

(イ) 視聴機器については、モニター3台以上及びVRゴーグル3台以上を用いて構成するものを想定するが、具体的な視聴機器については、提案事項とする。

視聴機器の操作については、ユーザビリティ及びアクセシビリティ

一に配慮し、高齢者、児童、障害者等への配慮も行い、誰もが見やすく使いやすいものとする。操作に当たっては、新型コロナウイルス感染症への対策を行うこととする。

5 成果品の提出

委託業務の成果品として、次のものを納品する。

- (1) デジタルアーカイブシステム一式
- (2) デジタルアーカイブ公開用機器
- (3) VRコンテンツの電子データ・システム一式及びVR動画データ (MP4)
- (4) VR視聴機器
- (5) 仕様書、システム説明書及び業務工程表

6 成果品の二次利用（電子及び紙媒体）

委託者が行う事業での利用（複写・加工による利用を含む。）に限る。

7 その他留意事項

- (1) 受注者は、発注者と綿密に連絡を取りながら、委託業務を実施しなければならない。
- (2) 契約金額には、委託契約の履行に必要となる一切の経費を含む。
- (3) 原則として、事業実施に係る関係機関との協議・折衝は受託者の責任において行うこと。
- (4) 成果品に係る著作権については、荒尾市に帰属する。
- (5) 成果品において、機器については、納入後1年間又はメーカー保証期間のいずれか長い期間、コンテンツ内容については、納入後5年間保証すること。

8 本仕様書

本仕様書は、プロポーザル審査会の結果に基づき、委託者・受託者双方で実施内容の協議を行った上で、別途作成する。